

クロム活用シート

5年社会科

1. 単元名『わたしたちの生活と食料生産』
2. 本時の評価規準

給食の材料に着目して、自分たちの食生活は様々な食料に支えられていることや、それぞれの材料がどこで生産されているのかについて、問いを見出す。【学びに向かう力、人間性等】

3. 指導計画

| | 学習活動 | ICT活用場面 |
|----|---|--|
| 導入 | ・スーパーのチラシを見て、食べ物の産地を白地図にまとめ、どのような地域でつくられているか調べる。 | C3 ペアで食料の産地を調べ、スタンプで記していく |
| 展開 | <ul style="list-style-type: none"> ・産地の集計結果から、気づきや疑問を出し合い、学習問題をつくる。 ・本州は野菜が多いです ・肉は国産のものが良いです。 ・何で魚は外国産のものが多くいます。 ・果物は地域によってバラつきがあるのはなぜか？ ・米は石川県や北陸地方のものが多くのはなぜか？ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> わたしたちのくらしを支える食べ物の産地は、どのように広がっているのか。 </div> | B3 食料の産地のスタンプ集計の結果を見て、気付いたことや疑問を付箋にかいてまとめる |
| 終末 | ・学習問題に対する予想を行う。 | |

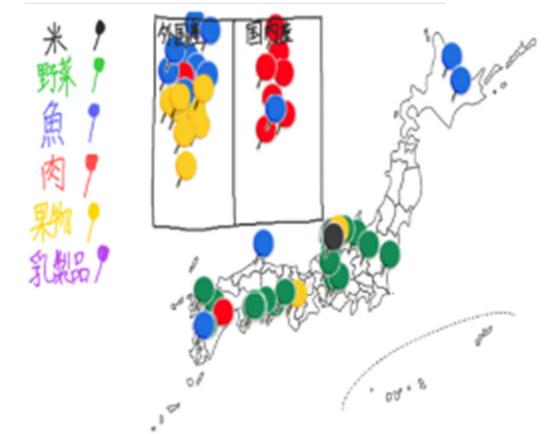
4. 情報活用能力（情報活用能力体系表より）

| | | | |
|---|--------------|---|--------------------|
| 3 | 学びに向かう力、人間性等 | 1 | 問題解決・探究における情報活用の態度 |
| | | ① | 多角的に情報を検討しようとする態度 |
| | | b | 情報を複数の視点から捉えようとする。 |

C3 協働制作

使用するアプリ等 「ムーブノート」

| 活用の流れ | |
|-------|---|
| ① | 日本地図と食料の種類とスタンプの識別を書いたシートをシートとして準備しておく。 |
| ② | ペアで食料の産地をチラシで調べ、日本地図に食料別の色でスタンプして記していく。 |



B3 思考を深める学習

使用するアプリ等 「ジャムボード」

| 活用の流れ | |
|-------|---------------------------|
| ① | ジャムボードにスタンプ集計の結果を背景にしておく。 |
| ② | 気づきや疑問を付箋に書き出す。 |



③ 気づきや疑問をもとに全体
で交流する。

使用したアプリのリンク

活用の効果

スタンプ集計の結果をもとに、食料品の産地を全国単位で見ることで、品物によって偏りや広がりがあることに気づくことができた。また、ジャムボードにしたことで付箋を動かしながら自分の考えがまとめやすくなった。